

**a to Z**

AtoZ 進学セミナー  
ひばりが丘教室

使い方次第で可能性が無限大になる場所

**総 合 パ ン フ レ ッ ト**



## 教育業界で、よく言われること。

- ☑「がんばって勉強して、少しでも出来るようになれば、モチベーションが上がり、また勉強するようになる。」
- ☑「努力してできるようになれば、勉強が好きになり、塾にもっと来なくなる。」
- ☑「学問に興味を持たせることができれば、成績はどんどん向上する。」

この考えが100%正しいと思われる方は、大手の進学塾や他の学習塾へ通われることをお勧めします。恐らく、あなたのお子さんは「勉強が好きで、成績も良好な」お子さんでしょうから、上のような考え方で学力は伸びていくと思います。

しかし、上のような考え方で指導され、全く効果が出なかった子どもたちがいる事実を、私は何度も見てきました。ですから、少なくとも私は、上のような考え方を100%信じてきってはおりません。

## 何が子どもたちを「勉強すること」から遠ざけているのか。

昨今「学校嫌い」の中学生はどんどん増えています。学校の教員に全ての原因があるわけではないでしょうが、少なくとも「学校嫌い」の一因であることは確かでしょう。全ての学校ではないにしても、教員の質の低下が叫ばれ、時代に合っていない子どもたちを画一的に指導する学校教育の中で、子どもたちは学んでいます。

当然、学習塾は勉強をする場所です。しかも、学校より進度は速く、受験に合わせて学習を進めていくわけです。その授業はというと、講師が新出単元についてレクチャーし、テキストを用いて問題演習。これがほとんどです。授業が終わったら、帰宅。そんな感じです。このようにして、学校や部活が終わった後、子どもたちは毎日のように勉強をしています。

あなたは、上のような生活を見て、どう思われますか？私には、ほとんどの子どもたちが1日に2度、あまり好きではない「学校」に義務的に通っているように見えてならないのですが、あなたはどうでしょうか？

## 子どもたちを「勉強すること」から遠ざけているもの。 それは、「人間関係と環境」です。

単純に考えてみてください。

あなたのお子さんは「あまり好きではない人」から、多くを学び取ろうとするでしょうか。

あなたのお子さんは「楽しくもない環境」で、一生懸命長い時間勉強するでしょうか。

人間は感情の生き物です。いくら理性的に「将来のために、勉強を頑張らなければ・・・」と振舞っていても、ましてや小・中学生が、自分の感情を押し殺して、勉強をしようとは思いません。大人でも無理です。なかなか続きません。

文章の冒頭でご提示した「教育業界でよく言われていること」を、私が 100%信じてきていないのはこの為です。

誤解しないで頂きたいのは、「教育業界でよく言われていること」の全てを否定しているのではありません。間違っは居ないと思います。しかし、私は、最初の「がんばって勉強する」や、「努力してできるようになる」、「学問に興味を持たせる」の前提条件が抜け落ちているから、現代の子どもたちにうまく適合できていないと思うのです。

- ☑ **わかりやすい授業を展開していても、その授業をやっている人間が好きでなければ、聞きたくなくなります。**
- ☑ **努力の重要性を説かれたとしても、その説いている人間との信頼関係がなければ、煩わしく聞こえます。**
- ☑ **どんなに高尚な学問の話を読んでも、その人間自体に興味があれば、話している内容にも興味はありません。**

もう一度申し上げます。人間は感情の生き物です。人間が何かの行動を起こすとき、まず脳内で思考されるのは、「好き」か「嫌い」かの二者択一であるということです。

子どもたちの「学校嫌い」は、結局のところ、「先生が面白くない」という理由がほとんどです。ましてや、現代の子どもたちのコミュニケーション能力は、著しく低下してきていると言われていています。そして、現代は「多様化」を認める社会になってきました。それに対応できない教育者が増えてきているのも、実情と言えるのではないのでしょうか。

学習塾も同様です。既に全ての子どもたちが、「勉強!!勉強!!」という時代は終わりました。子どもたちも数多くの習い事をするなど、子どもたちが成長する道筋や考え方は、今まで以上に多種多様になってきています。そうすると、「勉強に向かわせる為にかける言葉」も、子どもたち一人ひとりの傾向に基づいて選ぶ必要が出てくるわけですが、なかなかそういったことができる学習塾の講師はいません。なぜなら、ほとんどの学習塾の唯一と言っても良い興味は、「成績を上げ、進学実績を上げる勉強方法」だからです。

ですから、まず整えなければならないのは、「子どもたち一人ひとりが、自分のことをわかってくれていると信じられる人間関係と、その人間たちが作り出す環境」なのです。

**「勉強が好きになったから、塾が好きになる」のではない。  
「塾が好きだから、勉強するようになる」のです。**

もしかすると、私は世間一般の学習塾とは逆のことを言っているかもしれません。

しかし、既存の学校教育や学習塾と同じような子どもたちとの人間関係の作り方では、子どもたちのよりよい将来を一緒に考え、それに必要な学力を養成するお手伝いはできないと考えております。

教室が醸し出す環境や、講師の人間性、それらを好んでくれた子どもたちは、毎回楽しそうに塾に通います。塾に来た場合、「すること」は勉強です。塾への足取りが軽くなれば、必然的に勉強量が増えるわけです。

そして、子どもたちが塾にいれば、コミュニケーションの量が増えます。そうすれば、子どもたち一人ひとりの傾向を察知することが容易になり、彼らとの信頼関係を構築しやすくなるわけです。だからこそ、より勉強をするようになるための「順番が逆」だと申し上げたいのです。

- ☑ 授業をやっている人間が好きであれば、その授業を聞くようになり、必然的に知識が増えます。
- ☑ 努力の重要性を説いている人間との信頼関係があれば、それを信じ、努力し、結果が出やすくなります。
- ☑ 学問の話をしている人間に興味があれば、その内容に興味を持ち、もっと知りたいと勉強するようになります。

人間を育てるのは、人間以外に存在しません。人間を成長させるのは、テストに出やすい問題を網羅したテキストでもなければ、とてつもなく便利な自習室でもないのです。ましてや、目を見張るような進学実績でもありません。

あなたが子どもだったときのことを少し思い出してみてください。必ず、信頼できる大人からの助言があったのではないのでしょうか。

**もしかするとあなたが思ってもいないレベルで、  
私たちは、あなたのお子さんを一緒に育てていけるでしょう。**

私たちほど、子どもたちと「いろんなことを話し、笑いあい、真剣に人生についての話をする」教育集団はいないと自負しております。

そして、私たちほど、子どもたち一人ひとりの性格、そのときの感情、心理的傾向にまで踏み込み、学習というツールを使いながら、お子さんを一人の大人にしていくことを、真正面から向き合って実践しようとしている学習塾は他にはないのではないのでしょうか。

最後に、一つ質問をさせて下さい。

お子さんが「勉強をする場所」から自宅に帰ってきたとき、あなたのお子さんは笑顔ですか？楽しそうですか？

是非、お子さんに体験授業を受けさせてみてください。

お子さんの方から、「このまま AtoZ で続けたい」と言ってもらえると思います。

AtoZ 進学セミナー ひばりが丘教室長

松本 弘幸

## ◎教育理念

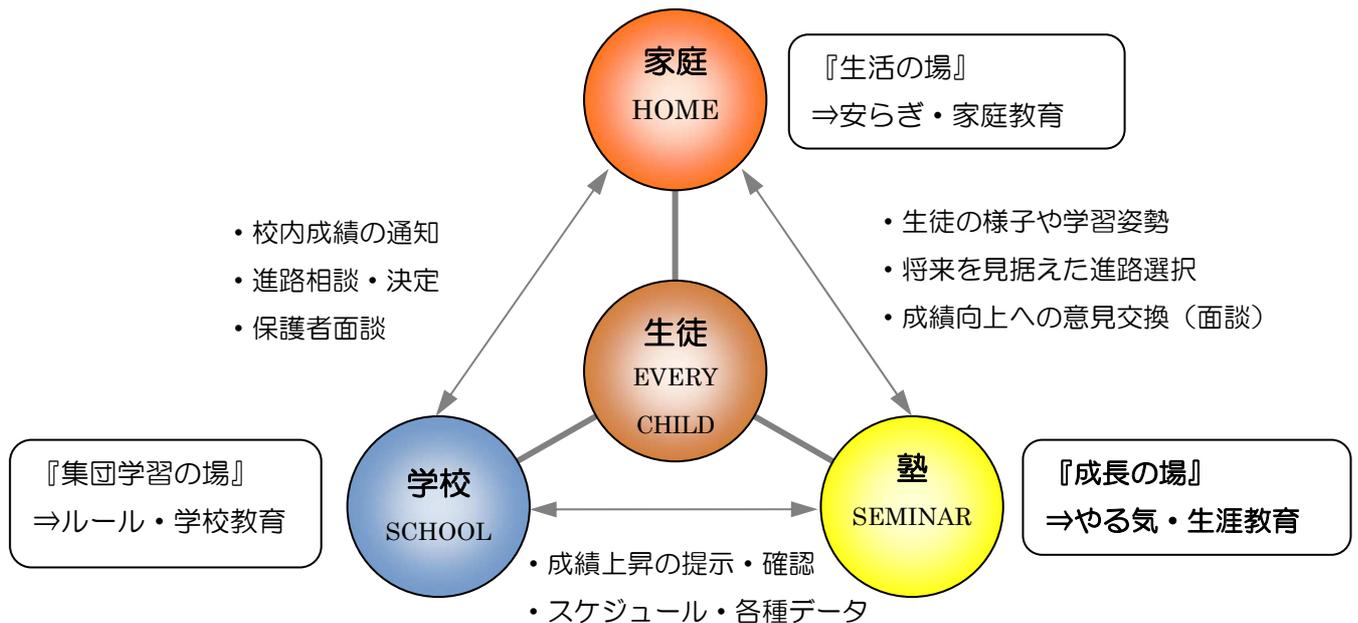
### 『コミュニケーションを通じた知育環境の創造』

「教育」という言葉について、いったい皆様はどのようなイメージをもっているのでしょうか？ 私たちは、人と人が関わり合うなかで育まれる知恵の創出こそが「教育」と考えています。

このため A to Z 進学セミナーでは、生徒ひとりひとりと講師はもちろん、保護者の方々とも密接なコミュニケーションをとり合い学習指導・進路相談を行ってまいります。

ともすれば疎かにされてしまいがちな、この“教育におけるコミュニケーション”ですが、指導者が、生徒ひとりひとりがどのような個性をもっているのか、どのようにものごとを考えているのかを知らないままに真の教育が成り立つことは決してありません。

#### 【コミュニケーションを通じた総合教育システム】



A to Z 進学セミナーは、当セミナーに関わって下さる皆様が「明るい未来を切り拓いていく為の知恵」を自発的に生み出し成長し続けていけるよう、必要な環境を整備・創造していくことを教育理念として掲げ、最大限の誠意をもって教育に取り組んでまいります。

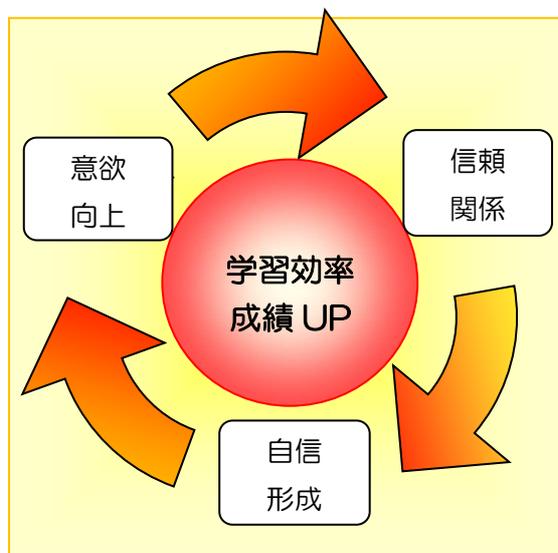
## ◎指導方針

# 『生徒ひとりひとりの個性・学力を把握することで、 学習意欲から成績向上、合格までを完全サポート』

A to Z進学セミナーの講師は、生徒ひとりひとりの個性や学力を把握し指導していくことが、教育に携わる上での“最重要事項”であると認識しています。そのため、講師は生徒ひとりひとりの様子を常に確認しつつ指導にあたっており、生徒の不安や不明点を早期に発見・解消していけるからこそ講師と生徒との信頼関係が生まれてくるのです。

こうして築き上げられた信頼関係は、生徒ひとりひとりの自信や学習意欲の向上につながっていきますので、「勉強することが楽しい」「やりがいを感じる」というように自発的に学習へ取り組む姿勢が、おのずと成績に反映していくという好循環へと結びついていくのです。

### 【成績アップ・モチベーションアップの好循環】



私たちは、こうした自発的な学習へのきっかけを与えていくとともに、少しでも生徒ひとりひとりが成長していけるよう全力でサポートしていきたいと考えております。

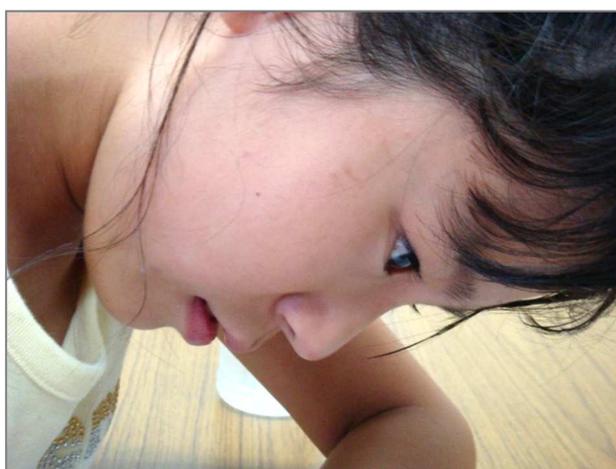
## 『学校学習・受験指導を通じて、多角的に考える力と、

## 未来を切り拓く為の“たくましさ”を養成します。』

受験や競争について皆様はどのようにお考えでしょうか？

この回答については、おそらく皆様の中でも賛否両論あることと思います。もちろんどのような事柄も度が過ぎた際の弊害は当然あります。しかしながら、私たちは「学生にとって、受験という共通の目標があるからこそ、真剣にそれに向かって努力・切磋琢磨する経験を積むことができる。」こう考えて受験指導に臨んでおります。

この努力によって得られた経験や達成感は、彼らが次の目標に向かう時の大きな自信になります。そして、受験勉強を通じて得たどの知識も、次の成功のための重要な道具となることでしょう。



A to Z 進学セミナーは、このような理念のもとに学校学習・受験指導に携わっていくことで、「未来を切り拓く (=次の成功へつなげていく)」ための思考力と、精神力とを生徒ひとりひとりが培っていけるよう最大限努力してまいります。



# ひばりが丘教室の使い方

## 習い事や部活、学習進度や理解度に応じて、 月々の教室利用プランが3つから選べます。

講義も出席して地の学力も上げたいし、学校の定期テストも長期休みの講習もちゃんとやって、一般入試に向けた万全の準備をしたい！！



F 生

ベース料金



月々の授業料  
(月謝)



講習・講座費用  
※単発の費用

講師からの学習、生活、進路などのコーチングをフルで受けながら、都立合格率 90% 超をほこる指導で、内申 UP・偏差値 UP を 1 年を通して目指していきたいひと向けのプランです。第一志望合格に向けて、生徒たちが 100% の準備をできるように指導していくことをお約束します。

普段は部活とか習い事とか忙しいし、学校の勉強はそこまで困ってないけど、テスト対策や、講習のような集中講座は受けたい。



S 生

ベース料金



講習・講座費用  
※単発の費用

「塾には通いたいけど、予定がぎっしり詰まってそれどころではない！」というひと向けのプランです。授業は取らなくても、塾にあるリソースは全部使ってもらって OK。余裕があって、講習・講座だけは・・・というときにも対応できる、これまであったようでなかった利用体系になっています。

勉強のサポートとか、気軽に質問できる環境とか  
ぐらいは欲しい。



B 生

ベース料金のみ

「内申や学力にはそれほど不安はないから、授業をとる必要は今のところないけど、自宅では勉強しないから、塾のような勉強場所は欲しいし、質問もできる場所があったらいい。サポートも受けられるなら欲しい。」というひと向けです。

### 【注意事項】

- 講習・講座の費用は、F 生・S 生・B 生で異なり、F 生であっても通常受講科目により異なります。
- B 生は定期テスト対策講座・季節講習・その他の講座を年度内で 3 回受講することで、自動的に S 生資格を得ることになります。
- S 生、B 生は通常受講を受講することで、F 生資格を得ることになります。
- S 生・B 生から F 生にはいつでも変更可能ですが、学期内で F 生から S 生・B 生への移行はできません。F 生の科目の変更・削減は可能です。
- S 生・B 生は、生徒との相談の上週 1 日の通塾日を設定し、学習状況などの進捗共有・管理を致します。
- すべてのプランで年 1~2 回の諸経費を申し受けます。

## 【利用プランごとの比較】

	MPによる 完全パーソナルな 演習・トレーニング	教室やリソース、 システムの利用	通常授業への参加 (ライブ/オンライン)	講習・講座への 参加
<b>F 生(本科)</b>	○	○	○	必修
<b>F 生(個人)</b>	○	○	○	必修
<b>S 生</b>	○	○	—	選択必修
<b>B 生</b>	○	○	—	任意

## ○ F 生(個人)について

習い事が忙しく時間が本科と合わせられなかったり、学力状況等でどうしても1対1の方が良かったりといった場合に使われます。当セミナーのF生(個人)は、「講義も演習も完全マンツーマン」です。  
※そのため、演習枠への参加は基本的にありません。時間帯や授業時間もご相談させて頂いております。  
F生(個人)は枠数が決まっておりますので、詳細はお電話や面談にてお尋ねください。

## ○ ベース料金について

教室内のリソース(机・椅子から、コピー機の使用、道場システムの利用に至るまで)をご利用頂くための費用として「ベース料金」が設定されております。当セミナーに在籍される場合に、月々基本使用料として申し受けております。

## ○ オンライン対応について

諸々のご事情により、どうしても教室に行けない場合もあるでしょう。そのような場合には、事前にご連絡頂ければ、ZOOMにて講義にオンライン参加することが可能です。また、同様に演習のタイミングにおいても、ZOOMでつなぐことにより演習指導を可能に致します。

なお、事前に欠席のご連絡があった場合には、講義を録画致しますので、後日配信致します。

# 学習のかたち【F生(本科)】

## グループ講義(一部は無学年制)



## 完全パーソナル演習・トレーニング

私たちは、「従来の集団指導塾」でも「個別指導塾」でも、最近出てきている「管理のみをする塾」でもありません。

誰もが知っていることですが、学力は「やった分」しか伸びません。

この「やった分」というのがなかなか難儀な代物ですね。

なぜなら、

- ① 生徒それぞれで、学力や理解力の違いから扱う問題の種類・レベルが異なるから。
- ② 生徒それぞれで、問題を解けるスピードや集中力が異なるから。
- ③ 生徒それぞれで、巻き戻してやり直さなければならないスタート地点が異なるから。

このような理由において、昨今の教育はどんどん「個人指導化」していくことになりました。

私もこれは望ましいことだと思っています。人それぞれ、目標や目的が異なるわけですし、それに応じて、やり方や分量は全く異なることになりますから。

しかし、一方で「個人指導化」を進めた結果、間違いなく2つの問題にぶち当たっていると思うのです。

### 1つ目は、「教える側」の問題。

「しっかりとした講義をやる喋り手」には、やはり数に限りがあります。

あまりこういうことは言いたくないですが、「個人指導化」することによって、「当たり外れ」の問題が当たり前のよう発生してしまいます。

### 2つ目は、子どもたちの「人的経験の不足」。

習い事が多種多様になり、子どもたちが体験できることは多くなったと思います。

しかし、それは結構な頻度で「ひとりでやること」であることは否定できないのではないのでしょうか。

また、大人の話真剣に聞かせる機会も減っていますね。このままではマズい。そう思うのです。

よって、**私たちが実現したのは、**

**「厳選された話し手の、コミュニケーションを重視したライブ授業」で、確かな知識と経験を手にしてもらい、「完全にパーソナル化した演習システム」で、自分の能力を最適な形で伸ばしていく。といった、これまで相いれなかったものを両立する、ということです。**

そこで私たちは、  
**「講義は、グループで。」**、  
**「演習は、完全に個人別に。」**、  
**新たな挑戦に打って出ました。**



グループ講義は、最低でも2年以上の指導経験を積んだ講師のみで行われる双方向性のコミュニケーション講義です。

数学・英語・社会・理科の講義は1回40～50分、国語のみ80～100分です。

※学年より異なります。

生徒それぞれに担当のスタッフ(Director)がついており、3～4週ごとに生徒とのミーティングも踏まえて、演習内容が決定されます。

講義とは別に、週1～2日教室で設定された演習内容にとりくみ、その場を我々スタッフが教えまわっているというシステムです。



通塾スケジュールのイメージ 例

	講義	演習
中1	数学・英語 → 水曜日(19:20～20:50) 中学国語 → 木曜日(19:30～21:10)	金曜日 → 19:20頃～ ※設定タスク完了まで
中2	数学・英語 → 月曜日(20:00～21:50) 中学国語 → 木曜日(19:30～21:10)	火曜日 → 20:00頃～ ※設定タスク完了まで
中3	数学・英語 → 月曜日(20:00～21:50) 理科・社会 → 水曜日(20:00～21:50) 高校入試国語 → 木曜日(20:10～21:55)	① 火曜日のみ → 18:00頃～ ② 金曜日のみ → 18:00頃～ ③ 火曜・金曜 → 20:00頃～

# MP (中期行動計画) & Director制度

私たちが「講義はグループで」、「演習は完全に個人別に」を実行する上で要になるのが、MP(中期行動計画)と Director 制度です。

MP(中期行動計画)とは、生徒個々の能力や学力、進捗スピードや集中力、性格などの要素を分析し、生徒個々が「その瞬間何をすべきか」ということを設定するツールです。

時期やタイミング(新出カリキュラムを消化する時期か、テスト前のタイミングかなど)や、どのくらい時間があるタイミングかを考慮し、新出単元から英検などの検定関係や受験勉強として取り組まなければならない英単語といったものまで、多種多様な項目をバランスよく(ときには比重を偏らせて)、演習・課題を設定しています。

また、生徒の学力や進捗管理能力によって、課題を提出することが義務の生徒もいれば、小テストで点数を取るために自分である程度取捨選択して勉強していく生徒まで、さまざまなパターンが存在します。

このMPを生徒本人が自分自身で全て構築できるようになれば、大学入試ひいては社会人になってからも、プロジェクトをどのように進めていけばよいのかといった思考を養成できると考えておりますので、徐々にですが、最終的には全て自分で作成させることを指導目標としています。

では、生徒本人が自分でMPを設定できるようになるまで、誰がMPの設定をガイドするかと言えば、それが Director ということです。

各生徒は担当の Director と緊密に連携しながら、日常的にコミュニケーションをとって、日々を送っています。MPも基本的には担当の Director が状況を分析した上で設定し、各生徒に共有しています。そのMPを用いて、最低でも月1回は1対1のミーティングを実施し、どのように進めていくか、その地点までの反省点・改善点は何かなどを話し合っ、次につなげています。

▼ある生徒のMP①

→進捗管理に不安があるので、かなり細かく設定されているタイプ。

【Sympass】中期行動計画書 (MP)				期間: 6月11日 (日) ~ 7月1日 (土)									
【今年度の目標】				毎日行進計進捗カレンダー									
進捗の振り返り				日	月	火	水	木	金	土			
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8
9/10													

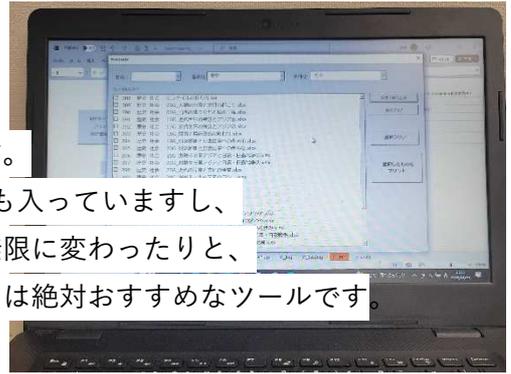
▼ある生徒のMP②

→進捗管理やスピードには問題ないので、細かな設定は自分で。その代わりに小テストは多め。

【Sympass】中期行動計画書 (MP)				期間: 6月11日 (日) ~ 6月10日 (土)									
【今年度の目標】				毎日行進計進捗カレンダー									
進捗の振り返り				日	月	火	水	木	金	土			
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8
9/10													

# 通称、『道場』。

教室のオフィススペースには一台のパソコンが置いてあります。そのPCこそ、通称『道場』。出力したい演習物は基本なんでも入っていますし、一問一答の順番がシャッフルされたり、数学の問題は数字が無限に変わったりと、できるまで繰り返し何度でもやる！ということをやりたい方には絶対おすすめのツールです。



MPに搭載されることもあります。自分でやることももちろんOK。

# 基本、いつ、どこを使ってもOK。

講義で使う教室以外は、どこを使って勉強しても構わないというのが、A to Zのルール。早く来てオフィススペースに近いところで勉強するもよし。使っていなければ個室にこもって、集中するもよし。はたまた、勉強会に中くらいの教室を借り切っちゃうのも、許可さえ下りればOK。

# Slackを利用したコミュニケーション。

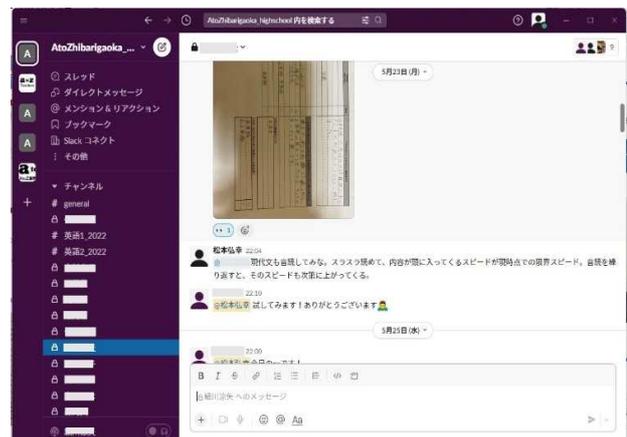
当セミナーでは、コミュニケーションツールとして「Slack」を採用。生徒用のワークスペースでは、課題の提出や進捗の確認、質問行きたいです！という予約、お休みしてしまったときの授業動画の配信などの連携系統のことから、たまに全然勉強に関係ない話まで、あらゆるコミュニケーションリアルと合わせて、slack上でも行われています。

保護者様用のワークスペースも存在し、お子様の様子の相談や時間割などの資料の添付、受験に関する情報の連携に利用しております。



▲保護者様用 slack画面 例

▼子どもたちの slack画面 例



## A to Z 進学セミナー Q & A

### Q. 補講や振替授業はやってもらえるの？

A. 補講は、セミナー生が選択している科目を原則として、担当講師にて必要と認められた場合に行なわれる無料の授業です。授業終了後もある程度の時刻までは、学習指導を行うことがあると思いますが御父母の方々のご理解をお願い申し上げます。

当セミナーの本科クラスでは原則として振替授業は実施致しません。その代わり事前にご連絡頂いている限りにおいては、講義を録画し後日配信致します。その動画でまずは学習し、不明点はいつでも質問しに来てもらえれば大丈夫です。もちろん、課題などについては、slack で発信致します。対して、個人クラス選択者がやむを得ない事情で欠席した場合については、振替授業を行います。（但し、無断欠席や度重なる遅刻等が続いている場合の振替授業は行いませんのでご了承下さい。）

### Q. 講師・担当の決定や変更はどのように行っているの？

A. A to Z 進学セミナーでは、例年、講師採用希望者全員を対象に学力試験、適正検査、面接、模擬授業を行い、1～2名程度の講師を厳選採用しております。また、採用後も数カ月間に及ぶトレーニングを行った上で教務につかせております。

実際に大学生や大学院生の時間講師も授業を行っておりますが、このような徹底したトレーニングを行っている結果、非常に厳しい教員採用試験に対してもこれまで受験した講師全員が合格を果たしており、生徒からの信頼も厚いというのが現状です。

当セミナーでは、こうした信頼関係が成立してこそ最も効果的な学習指導が成立すると考えていることから、生徒の個性や考え方、学習状況を考慮した上で最適な講師を決定するよう努めております。

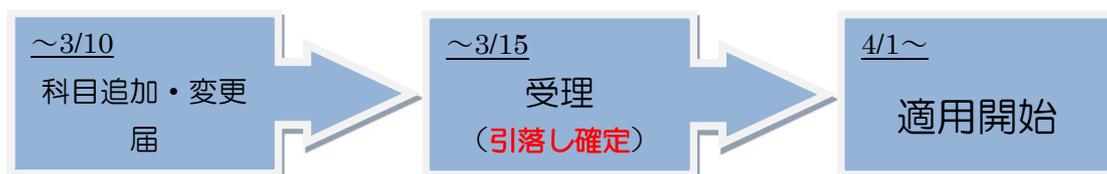
また、生徒の学力や学習意欲向上等の変化に伴い、クラスや講師の変更も随時行っております。このような“フレキシブルな対応”は、生徒にとって最適なクラスで確実に成績を伸ばす為のシステムとして非常に効果的に機能しています。

### Q. 授業の選択の追加・変更ってどうすればいいの？

A. 科目の追加及び変更は随時受け付けておりますので、必要に応じてお電話にてお申し出下さい。手続きに関しましては、科目追加・変更届を書いて所定期日までに提出して頂くだけでスムーズに追加・変更が可能です。ただし科目の追加については1科目ごとにかかる諸費用（テキスト代など）を適用開始月分の月謝と併せてご請求させていただいておりますので予めご了承ください。

また、変更届の提出は原則として変更適用月の前月10日までをお願いしております。※特に15日以降のお申し出に関しましては、翌月分の月謝の自動引落とし手続きが毎月15日（土日祝祭日の場合は郵便局の前営業日）で確定してしまうため、変更が不可能になってしまい、月末に確定請求額が引き落とされてしまいますのでご注意ください。

例) 4/1 から科目の追加・変更を行う場



## 各種学力判定テスト（月例テスト）

月例テストとは全国一斉に行なわれる偏差値換算業者試験のことです。当セミナーではこのテストを小学5年生以上に必修で年に数回受験していただきます。月例テストの実施日は年間計画表にてご確認頂けます。ただし塾の講習、学校行事、会場テストの実施日などの関係によっては日程が変更になることもあります。ご家庭にはテストを実施した月の月末までにその結果データをご報告します。

難易度としては、あくまで受験レベルでの解答を要求していますから、他の模擬試験などと比較すると高めであるといえます。

当セミナーは、実情としてどのような学力水準にいる生徒であっても、難易度の高い問題へ取り組むことで、学校内での成績の浮き沈みに一喜一憂することなく、高い目標に向かって常にチャレンジし続けてもらうために、この月例テストの受験を必修とさせて頂いているのです。この為、実施日にご都合が悪く受験できない場合でも、実施日から1週間程度（テストのデータ発送日の前日まで）の期間内に、授業がない時間帯を利用して受験していただくことになります。

※万一、どうしても最終締切日までに受験できなかった場合は、追加処理という形をとってデータ発送を行い、偏差値、分野別理解度、志望校判定等の結果データを受け取ることとなります。その際は追加処理費用（宅配便費用）として、2100円の費用を別途いただくことになりますので、できるだけ期間内の受験をお願いいたします。

なお、この月例テストの結果については科目毎の生徒の学力水準を確認し、弱点部分を補強していくための参考データと捉え、ここからどこまで伸びていけるかを励ましながら、生徒の学習意欲をしっかりと支えていくことが重要です。

また、業者テストとしてのV模擬（進研会場模試）の受付も行っております。受験期の中学3年生については、多角的に進路を検討していく為のデータとして、9月・10月・11月・12月・1月の5回については必修で受験して頂きます。また、その他の実施月についてのお知らせも随時行いますので、受験ご希望の方はお気軽にお申し付け下さい。

なお、各種テストのデータは、次年度の進路指導に役立てるため、各テスト会社が独自に集計を行います。この際、追跡調査という形で当セミナーの生徒の学力・受験の合否データも集計されますが、これはあくまでも進路指導を目的としたものであり、集計された資料は、個人の名前・住所などを特定できる資料ではありません。次年度以降のよりよい進路指導のために、ご家庭のご理解とご協力をよろしくお願い致します。



## 定期講習会

講習会は年に春期・夏期・冬期の3回行なわれます。各講習では、それまでの内容の総復習及び受験学力の養成、中3に関しては受験パターン問題の練成を行います。

講習は単に復習の場という位置付けではなく、各分野の内容を掘り下げて説明し、より高度な発展的な内容まで学習していく場です。定期講習会については当セミナーのカリキュラムの一環に含まれておりますので、セミナー生は中学生以上のF生は必修となっております。S生・B生におきましても、講習のみの参加も受け付けております。



## 三者面談・保護者会・進路情報

三者面談は中学生（中3は必修）を対象に10月に行っております。また、6月には中学生を対象に保護者会を実施しております。また、勉強・進路等のご相談には常時応じさせていただいておりますので、必要な時は事前にお電話下さい。（日程は応相談）

生徒との二者面談については月例テスト後などに、必要に応じて随時実施して学習指導を行っております。高校の情報等はデータベースとしてまとめてありますので、必要な学校情報に関してはいつでもお申しつけ下さい。

また当セミナーの埼玉草加校は、世界最大の国際教育交流機関である（財）エイ・エフ・エス日本協会、埼玉支部東部事務所を兼任しております。高校生の交換留学やホストファミリーとして留学生の受け入れをしてみたいなど、国際交流や国際理解教育などのご相談

## その他イベントなど

前項までにご紹介した各種講座や講習の他にも、セミナー生希望者対象のイベントとして、サマーキャンプやきのこ狩り、山菜摘みなどもシーズン毎に予定しております。是非「知・徳・体」の総合的な学習の為に、ご参加頂ければと思います。

（各種イベントのご案内も講座・講習日程と同様、事前にご連絡させて頂いておりますので予めご確認の上、ご希望の場合には早めのお申し込みをお願いいたします。）

## 一般的諸注意

以下の点につきましては、入塾後の基本的な注意事項となりますので予めご確認ください。

- a. 原則として遅刻および欠席は厳禁です。体調不良やその他やむを得ない理由などで、遅刻・欠席をする場合には授業開始 10 分前までに必ずご連絡下さい。（基本的に正当な理由なき遅刻や欠席に関する補講は実施しておりません。）また、授業開始時に入室確認がとれない場合も遅刻扱いとなりますので、必ず始業時刻には着席し授業の準備をすませておくようにして下さい。  
※授業開始後 10 分を経過しても入室のない場合はご家庭へご連絡差し上げます。
- b. 授業に持参するものは、塾のテキスト・筆記用具です。ただし、学校の定期試験 2 週間前からは定期試験対策授業へと切り替わりますので、学校の教科書を忘れずに持参してください。（英語は英和辞典、社会に関しては資料集等も併せて持参して下さい。）その他、事前に講師から指示があった場合には、その指示に従って下さい。
- c. 講習および講座、夏期集中授業などについては、本人の希望を加味して時間割を組みますが、正式な発表は年間計画表に指定した日に校内掲示の形で行いますので、必ず事前に生徒本人にて確認するようにして下さい。
- d. 休日は原則として土曜・日曜（月例テスト・振替授業・補講・自立学習予約がある場合を除く）・祝祭日及び当セミナーの指定する日となります。  
詳しくは年間計画表にてご確認ください。
- e. 学校の成績通知表及び定期試験時の点数通知表（定期試験成績表）は、学校から渡されましたら、必ず一度当セミナーへ提出してください。  
これら学校の成績を資料に最終的な内申点を概算で計算し進路指導を行っていきます。
- f. 一旦納入された費用については、理由の如何にかかわらず返金できませんので予め御了承下さい。また、講座・講習についても申込書の提出後は特別な理由がない限りは、講義に参加できなくても費用を頂くこととなりますのでご注意ください。  
※なお、休会・退会の場合も前月の 10 日までに手続きを行ってください。期日を過ぎてのお手続きについては、翌月分の月謝までは所定の金額が発生してしまいますのでご注意ください。
- g. 入会後は生徒規則を熟読の上、必ず遵守して下さい。
- h. その他、月例テストの日時、時間割の変更、クラス編成、諸注意等の詳細については、通常、塾内の掲示板（ホワイトボード）及び月間計画表に掲示・掲載する形で発表します。塾に入ったら初めに必ず掲示板の内容を確認する習慣を身につけるようにして下さい。
- i. 塾のパンフレット等への掲載を目的に、生徒や授業風景について写真を撮ることがあります。撮影および掲載に関するご理解・ご協力をお願いいたします。

※ なお、その他ご不明な点がある場合には、お電話にてお気軽にお尋ねください。

Tel (042) 423-5525 平日：午後 3 時～午後 10 時

総合パンフレット

---

平成 15 年 3 月 1 日 初版発行  
令和 5 年 6 月 20 日 改定新版  
発行所 A to Z 進学セミナー

〒188-0001  
東京都西東京市谷戸町3丁目9-5  
ひばりメディカルモール 2F  
Tel : 042-423-5525 (代)  
Fax : 042-422-7796



AtoZ進学セミナー

TEL : 042-423-5525

MAIL : [hibarigaoka@s-atoz.jp](mailto:hibarigaoka@s-atoz.jp)

URL : <http://www.s-atoz.com/>